

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	札幌国際大学短期大学部
	大学等名1(代表大学等)※カナ	サッポロコクサイダイガクタンキダイガクブ
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F20130100514
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	北海道
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	科目名	インターンシップⅠ、インターンシップⅡ
	学部・研究科等名	総合生活キャリア学科
	担当教職員名・役職	和田早代(教授)、遊佐順和(教授)、小林純(准教授)、石田麻英子(准教授)
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	7
	受入企業等数	4
	受入企業等名	(株)紀伊國屋書店札幌本店、(株)メモリアルむらもと、(株)ジュアン・ペルル、(株)北海道観光物産興社
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	販売・補充・品出し作業、検品、返品作業、葬儀運營業務、プライダ衣装室業務経験、婚礼見学、直営売店での接客販売、商品管理業務他
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	短期大学 1年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	短期大学 2単位 短期大学 1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	1年春・秋学期実習、「インターンシップⅠ」(実働10日間)は2単位、「インターンシップⅡ」(実働5日間)は1単位を付与。事前授業出席が派遣条件。事前・事後指導、総合報告会、派遣先からの評価、報告書をもとに成績評価を行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている

要素③		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	大学配布の「インターンシップテキスト」に基づき、インターンシップ授業の意味・心構え、エントリー・プロフィールシート作成、企業研究、社会人基礎力、マナー・ルール・身だしなみについての学習を行う。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ期間中記載の「研修日誌」の提出確認、訪問先企業へのお礼状作成、報告書の作成を行う。その後、全員での総合報告会を開催し成果報告、経験の共有を行う。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ期間中に担当教員が、派遣先企業に赴きモニタリングを行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
		3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み		
4-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習において制定のテキストを利用し社会人基礎力の理解と自己評価を行う。インターンシップ期間中は制定の「研修日誌」にて日々の気づきと反省点を記入。事後学習においてグループワークで達成状況の確認、成果報告。経験の共有をし、事後、各学生の成長度合いを確認する仕組みとなっている。	
5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい	
5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している	

要素⑤		2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	(株)紀伊國屋書店～10日間、(株)メモリアルむらもと～10日間、(株)北海道観光物産興社～9日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	(株)ジュアン・ベルル～5日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細		
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	研修事後、制定の「評価シート」にて参加学生の評価各項目5段階評価及びアドバイス等記入返送頂くようにしている。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www2.siu.ac.jp/syllabus/	
問い合わせ先	大学等名	札幌国際大学短期大学部
	担当部署名	キャリア支援センター
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	前川 浩通
	電話番号	011-881-8844
	メールアドレス	hiromichi-maekawa@ad.siu.ac.jp